

..... 編集後記

◆ 梅雨の日々が続く7月です。5月にはミャンマーでの大洪水、中国四川省での大地震と自然災害が続きましたが、我が国でも6月14日に岩手・宮城内陸地震が発生しました。13年前の兵庫県南部地震に近い地震エネルギーと推定されていますが、犠牲者のご冥福、被災者の一日も早い安全確保と復興を祈願致しております。被害の全容はまだ不明ですが、時節柄降雨による二次災害の防止が望まれています。さて、今月号も皆様から頂いた多岐にわたる個人投稿で構成しております。

◆ 初めは、守山氏ほかによるインドのマンガン鉱床や精錬工場を見聞した話題です。マンガンといえば、乾電池を分解したときに見られるあの黒い二酸化マンガンを想像しますが、インドはなんと世界第2位のマンガン資源埋蔵国だそうです。現地での生活事情は戦中戦後の日本と重なる部分も多く、オート三輪自動車などの単語は今では懐かしい響きをもっています。表紙や口絵の現地写真を対応させながら、また、年配の方は過去の日本の生活状況を思い出しながら読み進めるのは、如何でしょう。

◆ 岩手・宮城内陸地震では、地滑り被害が甚大でした。フィリピンでも2006年に一つの村が全滅するほどの大規模地滑りが発生しています。どのような自然災害であったか、2006年、2007年の2回現地入りした地下氏ほかによる調査報告をお読み下さい。この調査によって得られた地滑りの状況やその素因の解析が、今回の岩手・宮城内陸地震を含め、今後の発生予測と防災につながる事が期待されます。また、本誌622号、630号のレイテ島の関連記事を併せてお読み

になると、理解が一層深まります。

◆ 次は、茂野氏による簡易数値モデルと数値シミュレーションを応用した近畿地方の高温温泉の研究の話題です。前号ではプレートテクトニクス理論に基づく数値モデルを作成し、シミュレーションを行って日本周辺の深部震源の分布との対応を検討した結果を報告していただきました。今回は、本題である近畿地方の湯の峰温泉・有馬温泉・湯村温泉などの非火山性高温温泉の検討結果ですが、前号を参照してモデルやシミュレーションへの理解を深めながら読み進めることをお勧め致します。

◆ お馴染みになった須藤氏ほかによる砂と砂浜の地域誌は、今回16回目です。前は北九州市でしたが、今回は時計回りに周防灘から国東半島をぐるりと回るルートで砂浜の様子を報告しています。渚の情景を思い浮かべながら、お気軽にお読み下さい。

◆ 昨年、20万分の1地質図幅「屋久島」が刊行されました。屋久島は縄文杉が有名で、世界遺産に国内でも最初に登録されましたが、地質情報を観光資源として活用する「観光地質学」の考え方が示されています。屋久島の地質・地史と共にお読み下さい。

◆ 地質情報のアウトプット、アウトリーチとして地質図幅と同様に火山地質図があります。北海道にある有珠山は、今月の洞爺湖サミット会場近くにある活火山で、昨年、約四半世紀ぶりに地質図が改訂されました。その改訂ポイントの紹介をご覧ください。

◆ 来月号も一般投稿が続きます。皆様方からの多彩な投稿文をお待ちしております。 (金井 豊)

地質ニュース編集委員会

委員長：金井 豊

事務局委員：宮内 涉

委員：藤原 治・杉原光彦・高木哲一・森尻理恵・七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第647号 2008年 7月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2008年7月1日 発行

編集

発行人

発行所

産業技術総合研究所
株式会社 実業公報社
代表者 林 光生
株式会社 実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073
Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952
http://www.jitsugyo-koho.co.jp
E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp
振替口座 00110-6-32466
麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2008 Geological Survey of Japan